

学

教育心理学科長 堤 幸一

科

レポートがなかなか始められないという学生さんが多い。なぜか聞くと、何をどう書くか迷い、さらに良いものを書きたいとか、失敗したら笑われるのではないかとかも想像して、結局実際には一語も書けずに時間ばかり過ぎていくという。このように行動を開始する動機づけが弱いときは、課題を小ステップに分割して始めやすくするとよい。

長

よ

り

皆さんも、頭の中で悩むだけでなく、まず力まずにできる、小さなことから始めてみよう。

新任の先生に インタビューしました

森村 和浩先生

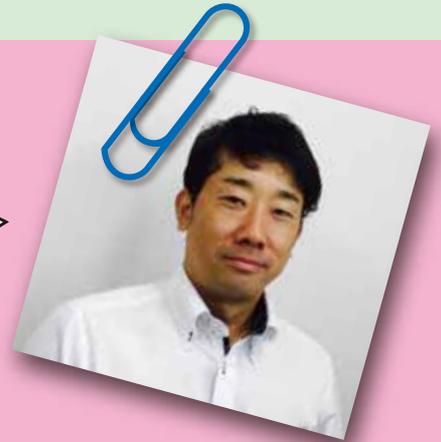
1年 稲場愛理・小笠原可純・佐藤菜々子

森村和浩先生は、今年の4月に教育心理学科へ着任されました。趣味はスキーと子どもと遊ぶこと。先生は、子どもの頃からいろんなスポーツをやってきており、様々なスポーツで体を動かすことが大好きだそうです。専門は運動生理学とスポーツ健康科学。子どもから高齢者まで運動と身体と脳(心)との関わりを研究されています。

先生は、運動をすることで心身共に変わっていくことに興味を持ち、運動を通じた教育と研究を深めたいと考えたことが大学教員になるきっかけになったそうです。

先生からひと言

就実大学は、学生と教員との距離も近く学生の皆さんにおいてはとても学びやすい大学であると感じています。この充実した環境をフルに活かすとともに、学生さんには、ココロとカラダの「ナゼ」を追求し、人、そして社会を支えリードできる確かな人財へと成長してもらいたいと願っています。



津島 靖子先生

1年 田中彩央里・二宮華奈・平松夏奈

津島先生は、今年の後期から教育心理学科に着任されました。観葉植物を育てることや自然に触れることが好きとのことでした。これまで、子どもの注意機能の発達やひらがなの読み書き困難の背景要因に関心をもって研究してきたそうです。

先生は、言語聴覚士の資格を取得されており、前の大学で言語発達障害のある子どものアセスメントや支援について教えられていました。今後は、アセスメント結果などの根拠に基づく指導法を考えていきたいそうです。

先生からひと言

学生時代に、感じて動く「感動体験」をする機会を増やしていきましょう。



新歓行事報告 2016/5/21

5月21日に新入生歓迎会を開催しました。

2年 西山桂花・西尾佳奈子

当日は、まず各テーブルに分かれ個人の自己紹介を行いました。次に、「なんでもバスケット」を行いました。体を動かすことで自己紹介のときの緊張していた雰囲気が一新され、お互いの意外な共通点を知りながら、夢中で楽しむことができました。なんでもバスケットが終わると、学年の壁を越えて親しく交流することができました。そして、おにぎりやお菓子を食べながら1年生は学校生活について不安なことや心配なこと、楽しみなことなどを先輩に聞き、これからの学校生活についての話で盛り上がっていました。学年を超えて集まる機会は少ないので、このような行事を大切にしていきたいです。



学祭報告 (2016/10/22-23)

2年 藤田麻帆・森下智波

なでしこ祭

教育心理学科では今年もハートカフェ、キッズワンダーランドを行いました。

ハートカフェでは教員や会社員として活躍されている卒業生を招き、キャリア報告会を行いました。実際に働かれている先輩たちの話が聞けて、就職活動や社会人としての心構えができたように思います。他にも学生による演奏があり、たくさんの方に楽しんでいただけました。来客された方はもちろん、学生にとっても大変良い経験になりました。ハートカフェは様々な方の協力があるからこそ、教育心理学科らしい温かい雰囲気の中で開催できたと思います。

キッズワンダーランドの今年のテーマはアドベンチャー。子どもたちにいくつかのブースを探検してもらい宝物を見つけるというものでした。自分たちで考えて作った仕掛けなどで子どもたちが楽しんでくれてとても嬉しかったです。今年は親子で楽しんでくれる家族もいて保護者の方の笑顔も見られました。



球技大会 2016/9/13

1年 井原葵・加賀有紗

9月13日、教育心理学科球技大会が開催されました。1年生と2年生の混合チーム対抗でバレーボールを行いました。ゲームを通じて、普段交流のない先輩方とも仲良くなれたと思います。ゲームが接戦になると応援も白熱し、熱い試合が繰り広げられました。バレーボールが苦手な人もいましたが、チームでフォローしあってゲームを進め、サーブやアタックが決まった時は全員で喜び合いました。参加人数は少なかったですが、とても楽しい球技大会でした。



1年生

(稲葉愛理・井原葵・小笠原可純・加賀有紗・小島菜々子・佐藤菜々子・田中彩央里・二宮華奈・平松夏奈・三村美沙姫・村松日南子・行廣春花)

4月22日、23日の2日間、京都へ研修旅行に行きました。

1日は西本願寺で参拝や見学、嵐山で自由散策、妙心寺で座禅と抹茶体験をしました。レクリエーションでは他人に自分の紹介をしてもらう「他己紹介」を行いました。西本願寺では、普段知ることのできない埋木のことや西本願寺と東本願寺に別れた理由など、貴重なお話をお寺の方から聞くことができいい経験になりました。

2日は、クラス別行動で、事前に各クラスで計画を立てて京都市内観光をしました。クラスや学科の親睦を深めるきっかけになり、本当に楽しい2日間でした。以下は、クラス別行動の紹介です。



1組

清水寺に行きました。慣れない土地で、電車の乗り換えなどよくわからなくて大変でしたが、協力して何とか楽しく観光できました。



2組

伏見稲荷に行きました。美しい鶯色の千本鳥居をくぐりながら日本の文化に触れました。



3組

万華鏡作りに挑戦しました。すてきな万華鏡ができました。



4組

清水寺、音羽の滝に向かう長い階段です。清水寺の舞台は、上からの眺めもよかったです。音羽の滝からの眺めもきれいでした。



5組

伏見稲荷大社を訪れました。綺麗な景色を堪能することができました。伏見稲荷大社にならぶ鳥居には圧倒されました。



6組

一日目、嵐山でのランチです。よーじやカフェでオムライスを食べました。



7組

恋占い おみくじをひきました。他にも、清水寺「音羽の滝」ではお水を飲みました。もちろん恋愛の水です。



8組

コトブキ陶春で陶芸体験をしました。良い器ができました。



9組

嵐山です。みんなで仲良く楽しみました。



10組

本格的なお茶室で抹茶をいただきました。時間の都合で、予定していた場所すべては回ることができませんでした。



11組

足湯でリフレッシュ！ とても気持ちよかったです。



12組

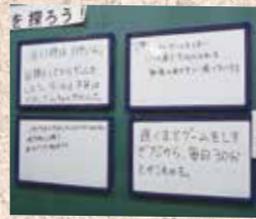
祇園、辻利に行きました。抹茶パフェがとってもおいしかったです。

養護教諭

(2016/09)

3年 石坂真菜美

私は、9月5日から23日までの3週間、岡山市内にある小学校に養護実習に行かせていただきました。実習では、学校現場での養護教諭の職務の重要性や他の職員との連携の大切さ、やりがいなど様々なことを学びました。また、3週間の児童との関わりや先生方からのご指導



により、養護教諭になりたいという気持ちが強くなりました。この実習で学んだことを今後の大学生活や自分の将来にいかして、努力していきたいと思いません。



4年生 神高帆菜美

4週間の基礎免教育実習期間は、毎日が充実していました。

今回の教育実習を通して、特に学んだことは、授業作りについてです。アクティブラーニングや児童同士の対話が重要視されている中で、児童が見つけたキーワードを拾って全体に広げたり授業を展開したりすることがとても大切だと学びました。そのためには、教師が授業に際して児童に何を学ばせたいのかという具体的な目的を持つことや、キーワードをキャッチする力が必要だと感じました。

私が毎日頑張ることができたのは、他の教育実習生や先生方、児童の支えがあったからだと思います。4月から、たくさんの方に支えられているという感謝の気持ちを忘れずに一生懸命頑張っていきたいです。



特別支援教育実習

(2016/06)

3年 長田寛子

私は6月13日から2週間、岡山県立誕生寺支援学校で、特別支援教育実習をさせていただきました。最初は子どもと関わることが難しく感じ、戸惑う場面もありました。しかし、日を重ねるごとに、子どもの伝えたいことが分かるようになり、こちらの伝えたいことも伝えることができるようになったと感じました。教育実習中は毎日が新しい発見であふれていました。研究授業をつくるために担当の先生方の協力のもと、日々試行錯誤を重ねました。研究授業の本番を終えても、自分に足りないところが多くありました。特別支援学校の児童と触れ合っ初めて、心に寄り添う気持ちや心が通じ合う瞬間の嬉しさを知ることができました。この貴重な経験を、来年の基礎免許の教育実習でも生かしていきたいと思います。



看護学臨床実習

(2016/02-03)

4年 瀬良田菜歩

私は看護実習で2週間、南岡山医療センターに行かせて頂きました。そこでは、医師、看護師、患者の方々と近い距離で関わることができました。その中で私は、支援とは心で行うものだとことを学びました。これは、相手の立場に立って行動することで、よりよい支援を行うことができるということです。今後、養護教諭として働く上でも今回の実習で得られた学びを大切にしていきたいと思いました。

教育実習(保健)

(2016/06)

4年 高垣 遥

私は、6月6日から6月24日の3週間、母校の中学校で教育実習をしました。保健の授業は4回させていただき、ひとつの授業をつくることの大変さや、生徒が楽しくわかりやすい授業をすることの難しさを改めて感じました。しかし、実習では様々なことを学ぶことができました。中でも、人前で話す度胸や指導力を身につけることができたと感じています。また、たくさんの生徒との出会いの中で、かけがえのない時間を過ごすことができました。教採前の大変な時期でしたが、教育実習に行ってもよかったと思います。

介護等体験

(2016/07)

3年 吉岡祐季

私は、7月にワークショップちどりて5日間、介護等体験をさせていただきました。今まで、障害者の方と関わる機会がなく、はじめはとても緊張していました。しかし、施設のみなさんがあたたかく受け入れてくださる中で緊張もほぐれ有意義な時間を過ごす事ができました。障害のある利用者の方が仕事をされている中では、どんな場面でもちょっとした工夫や支援がありました。わずかな支援があることで利用者の方の仕事が容易になり、楽しみながら作業できるようになっている姿が印象的で、将来自分が教員になった時にも、一人ひとりにあった支援を行い、楽しく学習できる環境を与えていきたいと思いました。この経験から学んだことを今後生かしていけるよう努力したいです。

●学科で取得できる教員免許別の実習スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
養護教諭 一種免許状	3年生							養護実習(4W)					看護学臨床実習(2W)
	4年生												
教諭(保健) 中学校・高等学校 一種免許状	4年生				教育実習(3W)			教育実習(3W)					
教諭 特別支援学校 一種免許状	3年生			特別支援教育実習(2W)									特別支援教育実習(2W)
	4年生												教育実習(基礎免許)(4W)
介護等体験	3年生	随時(特別支援学校2日、社会福祉施設5日)											
	4年生	随時(特別支援学校2日、社会福祉施設5日)											

(注)保健と特別支援の実習は、どちらかの時期が指定されます。



授業紹介 特別支援教育各論

学業奨励賞2016

「知的障害の心理学」(下山真衣先生ご担当)

1年 三村美沙姫・
村松日南子



知的障害の心理学では、知的障害者がより快適に日常生活を送るにはどのような支援が必要であるかを心理学の立場から学んでいきます。この授業ではグループワークを多く取り入れ、様々な課題について討論することによって知的障害のより良い支援について考えています。今回の授業では「障害」という言葉の表記について討論されていました。この問題は当事者間で長年論じられ、障害とは何かを考えさせられました。知的障害のある子どもたちを理解し支援する立場になる人たちにとってとても重要な授業でした。

今年度、学業奨励賞として表彰された皆さんです。
おめでとうございます。

今後、学修に一層励むことを期待しています。

4年生

雲井聡子さん・新池彩奈さん・野口智史さん

3年生

岩本瑞希さん・野田千恵さん・高崎真帆さん

2年生

岡本佳子さん・加藤訓子さん・玄馬夏帆さん



4年生



3年生



2年生

桑原ゼミ (担当 桑原和美先生)

2年 藤下真帆・森下智波

桑原ゼミは、みんな暖かくとても楽しい雰囲気です。特徴としては養護、特支、心理+司書など様々な方向性をもつ生徒が集まっています。ゼミナールの時間では自分の興味・関心のあるテーマに即して論文等をレポートし、全員で質疑応答をします。それぞれ専門性は違いますが、違うからこそ様々な意見が聞けます。「なるほど、そういった見方や考え方もあるのか!」と感ずることがあり、いい刺激になっているようです。



石原ゼミ (担当 石原みちる先生)

2年 西尾佳奈子・西山桂花

石原ゼミでは、3年生の間、関心のあるテーマについての論文を読んだり発表したりしているそうです。ゼミの選択では、「研究テーマと合っていた」や、「先生が好きだから」などの理由でこのゼミを選んだ先輩が多いそうです。ゼミでの学びを進めていく中で、論文を読むのが難しかったり、興味を持てることが何かわからなくなったりするなど様々な苦労や困難があるそうです。しかし、一つ一つの苦労や困難をゼミのメンバーで話し合いながら解決してきたそうです。そういった話をする中で、ゼミの仲間に対する理解も深まり、お互いの個性も発揮されるようになってきたそうです。



堤ゼミ (担当 堤 幸一先生)

2年 藤田麻帆・森下智波

堤ゼミは、まじめに、でも楽しくといった雰囲気でした。ゼミ会では肉好きの担当者の好みにより焼肉やしゃぶしゃぶなど肉づくしだそうです。堤ゼミでは3年次にミニ卒研を行い、そこで得た知見に基づき研究方法などを改善し4年次の本卒業研究へとつなげています。



働く先輩特集

まかせなさい



山磨創一郎
(2015年度卒)

現在 株式会社LUNE D'EAU(ルネ・デュ)という北欧雑貨を取り扱う会社の営業・イベントの部署で働いています。仕事はデスクワークが中心です。今は、データのまとめやイベントの売場の会場図をつくることが多いです。大学時代に、ExcelやWordを学んでいたことがとても役に立っています。デスクワーク以外の仕事は、取引先の方からの問い合わせに応じることや、イベントの企画をすることなどです。イベントでは販売員として商品を販売することもあります。

就活をする上で、迷うことは多いと思います。私は、自分にとっての「やりがい」が大きい仕事を選択しました。それぞれ、夢や目標は違うと思いますが、自分にとって何が一番大切なのかよく考えて進路を選択することが何より大切だと思います。(株式会社 LUNE D'EAU)



森脇未紀子
(2015年度卒)

現在は島根県松江市内の中学校に勤務しています。毎日忙しい日々を送っています。大学時代は1年生の頃から保健室ボランティアに行っていました。そこでは掲示物や保健だよりを作らせていただいたり、保健室登校の生徒と接したり、いろいろな経験ができました。その経験が今でも生かされています。まだまだ未熟者ですが、養護教諭のやりがいをもっと感じられるよう頑張っていきたいと思っています。大学時代に経験したことが自分の強みになることを心に留め、いろんなことに挑戦してください。応援しています。(中学校 養護教諭)



小野舞子
(2014年度卒)

現在、岡山県立西備支援学校の知的障害部門小学部6年生の担任をしています。毎日が楽しく、充実した日々を送っています。このように感じられるのも、すべては子どもたちのおかげです。子どもたちの無邪気な顔や言動は、何度も「頑張ろう!」とやる気を与えてくれます。まだまだ教師としては未熟で、反省することも落ち込むこともたくさんあるけれど、子どもたちに「おのせんせい」と呼ばれることが今、励みになっています。学生時代は本当に楽しかったです。後悔のないように全力で楽しんでください(^o^)
(特別支援学校 教諭)



仁科(小林)楓
(2014年度卒)

担当企業のお昼休みに毎日訪問し、そこで働いている従業員の方に保険のコンサルティングを展開する営業の仕事をしています。

大学時代、カウンセリングの授業で学んだコミュニケーションの取り方など人との接し方が今の仕事にとっても役立っています。

就職活動は大変だと思いますが、先入観だけにとらわれず、視野を広げて活動していくといいと思います。ぜひ第一生命にもOG訪問してください。(第一生命保険株式会社)

就職体験記

今年度卒業する教育心理学科3期生の就職体験記です。
大学で学んだことを活かして、それぞれ社会での活躍を期待しています。

一般企業就職

一般企業就職は、自分が希望する就職ができるよう、友だちやキャリアセンター、時には先生と対策をしてきました。就職活動の中で自分の適性や将来についてしっかり考えることができました。

石井杏奈 金融機関

私が就職活動を始めたのは、3年生の冬に参加したインターシップからです。早期に業界絞っていたため、企業研究に専念することが出来ました。経団連に加盟している企業は、選考解禁が遅く不安になると思いますが、就職活動に対する自身の軸をしっかり持つことが大切です。また、家族、友達、先生の第三者からの客観的なアドバイスは非常に役立ちました。選考が始まると緊張の日々が続きますが、支えてくれた人達に良い報告が出来るようにするとともに、自分の納得する企業に就職するために、妥協しないことが一番だと思います。



玉置真由 広告・印刷

私は、3年生から始まるキャリアガイダンスで就職活動に関する知識を得ました。教育学部は就職活動をしている仲間が少ないので、できるだけ多くの情報を得られるように積極的に説明会などに参加するようにしていました。また、履歴書やエントリーシートがたくさん溜まってくるので、息抜きをしながら取り組むと良いと思います。自己分析をしながら就きたい仕事や企業を早めに調べておくことが大切だと身を持って感じました。



亀山桃佳 障害者福祉施設

私の周りでは、教員採用試験を受ける人が多く、就職する人は少数派でした。そのため、正直に言うとか就職活動を孤独に感じることもありました。けれど、孤独ながら就職活動をしてみて、キャリアセンターの先生方が自分を支えてくださっているという有り難みを感じました。履歴書添削や面接練習を何回もしていただいたことを本当に心強く感じました。また、自分から行動することがいかに大切かということにも改めて気付くことができました。希望する企業に内定をいただけたのは、合同説明会や施設見学、企業ボランティアに何度も自分から足を運び、いろいろな人にお話しをしていただいたことの結果だと思います。私の場合は、教員採用試験と就職活動に迷い、就職活動に取り組んだのはぎりぎりになってからでした。早くからの対策ができていたらこんなに焦らなくてもすんだのではないかと後悔することもありました。後輩の皆さんは、早いうちから自分の希望進路を定め、余裕をもった対策して下さい。



教員採用試験

教員採用試験は、受験校種に関係なく、みんなで対策を行ってきました。どんな情報も、みんなで共有し、時には先生方からもご指導をいただきながら、一緒に頑張ってきた時間は、とても有意義でした。

岸本真子 養護教諭

採用試験の勉強では、「オンオフをはっきりと!」、「仲間と一緒に!」この2つがポイントだと私は思います。ゴールの見えない毎日は、不安だらけで逃げ出したくなることも何度もありました。しかし、一緒に頑張ろうと励ましてくれる仲間、応援してくれる先生、先輩、後輩。支えてくれる家族のおかげで頑張り抜くことができました。4月からは周りへの感謝の気持ちを忘れず、子どもと共に成長していける養護教諭を目指して頑張ります!



入江史乃 特別支援学校教諭

私は、今まで勉強を必死にするという経験をしたことがなく、勉強が嫌で逃げだしてしまうこともありました。今回の教員採用試験の勉強では、一緒に息抜きをしてくれたり、励ましてくれたり、自分の周りにいる人たちみんなが支えてくれました。「自分は一人じゃない」ありきたりかもしれませんがこの気持ちを忘れずに、強い意志を持ち続けることが一番だと私は思います。周りの人たちへの感謝の気持ちと笑顔を忘れずに、岡山県の特別支援学校教諭として頑張っていきます!



近澤知央 小学校教諭

教員採用試験の勉強をする上で私が気を付けたことは大きく2つです。1つ目は、「勉強したくない自分やできない気分の日」も予定に入れることです。私の場合、「自分じゃ絶対勉強しない」「毎日勉強するのは無理」というのがあったので東京アカデミーを受講し、週に1日は必ず休みました。勉強しない自分はダメだと思わずに、友達や授業を言い訳に勉強して、適度に自分を甘やかしました。2つ目は自分の勉強の成果を信じることです。人のしていることが気になって不安になることがあります。ペースを人と合わせる必要はありません。自分が選んだ、目の前にある参考書を信じるのです。ポジティブに勉強した方がきっと知識もよく入ります。これで落ちたら運が悪かっただけ、くらいの気持ちで自分のできる量の参考書だけしていました。この2つに気をつけて、諦めないでこつこつ勉強を続けることで、合格することができました。4月からがんばります。



平成27年度就職状況総括

(一般就職) 本学科の就職先は学校教育関連職種が5割、残りがサービス業や金融などの一般職という状況で、福祉や大学院へ進む学生もあり、人を支える、関わる職種が増え本学科で学ぶ学生の特色が出てきていると感じました。就職活動に関して、卒業生の経験談から印象を受けたことは、それぞれの「やりたいこと」に対する課題と弱点等を自己分析したうえで、最適な方法と就職のための対策と準備の工夫を皆さんがしていたことです。常に課題を見つけ、課題を解決するための工夫と努力を重ねる。就職だけでなく社会人としても重要な能力です。在学生の皆さんも自分を見つめ直し社会へ巣立つ準備をしていきましょう。

学科キャリア担当 森村和浩

(教員採用試験) 本年度も、教員採用試験に多くの方が合格することができました。小学校と特別支援学校の志望者は全員合格です。また、すでに卒業された方の中からも、4名合格したとの連絡を受けています。皆さん、本当におめでとうございます。秋から仲間と励まし合って、夏休みにはお盆休みも返上して2次試験対策にがんばりましたね。日々ご指導くださった学科内外の先生方、応援に来て下さった先輩方、温かいご支援どうもありがとうございました。報告会に参加した後輩たちの感想には、「先輩たちの後に続きます」という決意が書かれていました。

学科 キャリア担当 鈴木 薫

教育心理学科 教員採用試験
今年度卒業予定者の最終試験
合格実績

養護教諭 5名
特別支援学校 6名
小学校 2名

研究紹介

学生インタビュー

郷木 義子先生

1年生 小笠原可純・行廣春花



郷木義子先生は、現在、小学校高学年児童の睡眠・覚醒リズムと自律神経活動の関係について研究をされています。近年、低体温や夜型の子どもが増えてきており、これら子どもの生活習慣と体温との関係に注目し、研究を進められています。研究を行う上で子どもと保護者双方から協力を得ているため、得られた研究成果を家庭や学校教育に還元するという姿勢を大切に研究されているそうです。



編集後記

教育心理学科が設立されて早6年、本当にあっという間でした。今回の学科報では、今の学科内の様子だけでなく、卒業生の活躍の様子も盛り込みました。在校生、卒業生の活躍の様子をご覧ください。[担当教員]

ありがとう!



平成28年度 教育心理学科

- 4月1日 入学式
- 4月16日(午前) 学力向上模試
- 4月16日(午後) キャリア講演会
- 4月22~23日 研修旅行
- 5月~6月 前期実習(特別支援教育実習・保健教育実習)
- 5月21日 新入生歓迎会
- 6月19日 オープンキャンパス
- 7月16~17日 オープンキャンパス
- 7月27日 特別支援教育実習報告会(前期)
- 8月21日 オープンキャンパス
- 9月~10月 養護実習
- 9月13日 球技大会
- 10月~11月 特別支援学校教育実習(後期)、小学校教育実習

行事報告

- 10月22~23日 なでしこ祭/学科企画(ハートカフェ、キッズワンダーランド)
- 10月25日 保健教育実習報告会
- 10月26日 教員採用試験報告会(養護)
- 10月29日(午後) 就実大学教育心理学会講演会
- 10月29日(午前) 養護実習報告会
- 11月30日 特別支援教育実習報告会(後期)
- 12月1日 教員採用試験報告会(特別支援)
- 1月11日 学力向上模試
- 2月~3月 看護学臨床実習
- 2月10日 卒業研究オープン発表会
- 3月11日 オープンキャンパス
- 3月20日 卒業式

2016年度学科報編集担当/4年生 入江史乃 大野粽子 片山裕梨 小松万浦 3年生 鈴木愛優 曾田佳奈子 津田綾奈 永井佳奈恵 2年生 西尾佳奈子 藤田麻帆 森下智波 西山桂花 1年生 稲葉愛理 井原葵 小笠原可純 加賀有紗 小島菜々子 佐藤菜々子 田中彩央里 二宮華奈 平松夏奈 三村美沙姫 村松日南子 行廣春花 教員 北川歳昭 森宏樹 岡田信吾 下山真衣